

学校法人 名古屋電気学園 淳和記念館



所在地：名古屋市千種区若水三丁目202番
 建築面積：約2,170㎡
 延床面積：約6,800㎡
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上5階、塔屋1階建
 設計・監理：清水建設(株)名古屋支店 一級建築士事務所
 施工：建築/清水建設(株)名古屋支店
 電気/中央電気工事(株)
 開校：平成24年11月

S157

1912年創設。「創造と人間性」を教育モットーとして4校を通じて人材を育成する名古屋電気学園に、「名古屋電気学園淳和記念館」が平成24年11月に開校。体育館にLED高天井器具が採用され、大幅な省エネとCO₂削減を可能にしています。

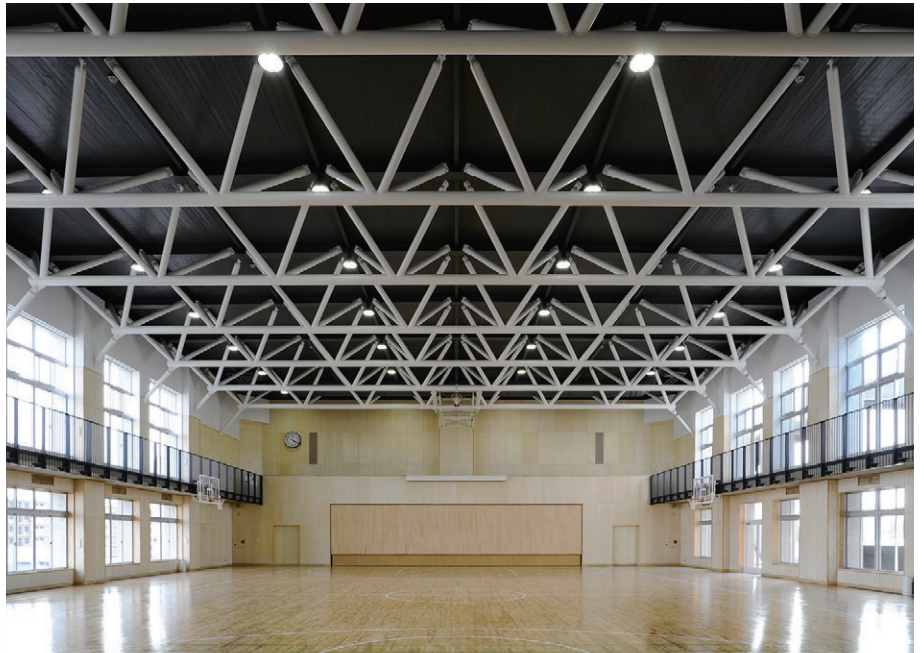
創設以来100年間「ものづくり」と「技術革新」に貢献する多くの人材を輩出

今年、創設100周年を迎えた名古屋電気学園。学園は、愛知工業大学をはじめ、「愛工大名電」として親しまれている愛知工業大学名古屋高等学校、愛知工業大学附属中学校、愛知工業大学情報電子専門学校の4校から成り、「ものづくり」や「技術革新」に貢献する10万人以上の卒業生を送り出しています。

平成24年11月には、創設100周年を記念して、地上5階建ての「名古屋電気学園淳和記念館」が開校。ものづくり工房、理科室、科学室、音楽室、100周年ギャラリーのほか3～4階に体育館を配置した構成となっています。

室内スポーツ兼講堂照明にLED高天井器具プラス点滅パターンで大幅節電

体育館は、バスケットボールをはじめ、バドミントンなどの一般競技を行うアリーナのほか、4階の外周部にはランニングデッキが設けられています。照明は、電球交換時の高所作業を要することに配慮し、長寿命(60,000時間)によるメンテナンスコストの削減を図りながら大幅な省エネが図れる初期照度補正機能付LED高天井器具(下面ガード付)を約9m高さの天井トラスに分散設置。このLED器具はMF250W器具相当の明るさを平均消費電力135Wで実現し、MF比約52%の電力量を削減しつつJIS照度基準一般競技水平面照度300lx以上をクリア。拡散カバー付下面ガードにより、眩しさを抑制しながら、床面照度だけでなく空間照度も確保し、快適な照明環境を創出しています。また、格納式の舞台やスクリーン、プロジェクターなどを設置し、講堂としても活用されるため、無駄なく適切なあかりを効果的に配分できるように配列を行い、点滅スイッチも2列ごとに分けています。瞬時に点灯ができるLED照明の特性を活かして、使用状況を見ながら適切な点灯パターンの選択を可能にしています。また、器具取付時脱落防止に留意して各器具に落下防止ワイヤを設けています。



アリーナの3階後方から舞台方向を望む。LED高天井器具を10列×4段に配置



4階のランニングデッキ後方から舞台方向を望む



天井トラスに分散設置したLED高天井器具



ランニングデッキの横手方向から対面方向を望む



平均消費電力135W、拡散カバー付下面ガードを装備したLED高天井器具

主な照明器具一覧

| 設置場所 | 器具名 | 形名 | 台数 | 備考 |
|------|-------------|-----------------|----|-----------------|
| アリーナ | LED高天井器具 | LEDJ-10013W-DJ2 | 40 | LED 平均消費電力:135W |
| | 拡散カバー付下面ガード | LEDX-20051GF | 40 | — |
| | 器具落下防止ワイヤ | LEDX-20052W-500 | 40 | — |